



『図説 日本史通覧』2027 年度版に込めた想い

株式会社帝国書院 第二編集室 歴史班

本書は 2014 年の発刊以来、「資料の読み解きで日本史の理解が深まる」を軸に、日本史を学ぶ高校生の資料読解・思考・論述の力を育てる紙面づくりを続けて参りました。

2027 年度版では、新課程「日本史探究」と大学入試の変化をふまえ、日本史探究で必要な学びに完全対応するよう内容を更新いたしました。2026 年度版の全面改訂の際にいただいたご意見をもとに、よりご活用しやすいページとなるよう工夫いたしました。以下、ご審査用見本とともにご一読いただき、本書に込めた私たちの思いをお汲み取りいただければ幸いです。

◆ 『図説 日本史通覧』2027 年度版の特色

① 巻末の入試対策特集を最新の入試傾向をふまえてさらに強化

昨年の 2026 年度版の改訂におきまして、ご好評いただいております資料別の読み解き演習やテーマ別の流れ図特集 (p.347-350「土地制度の移り変わり」など) を、巻末の p.337-366 にまとめ、計 30 ページの「入試対策」コーナーといたしました。この度の 2027 年度版では、「入試対策」コーナーの最初のページである「大学入学共通テスト 入試分析と対策」を、2026 年度入試の状況をふまえ、最新の内容に更新しました。さらに、テーマ別の特集ページに対応したワークシートを QR コンテンツと Web サポートに収録しております。これにより、最新の入試傾向を把握したうえで、日本史探究の総復習として、入試で重視される資料読解やテーマ別の知識をワークシートで簡単に整理できるよう工夫いたしました。

337 入試対策 大学入学共通テスト 入試分析と対策

1 大学入学共通テストとは

大学入学共通テストは、2019 年度から導入された大学入学共通テストです。従来の大学入学共通テストと比べて、科目・試験形式・試験内容が大きく変わりました。また、試験の目的も「大学入学のための学力の測り」から「大学入学のための学力の測り」と「大学進学後の学習の基礎となる学力の測り」の両方を兼ねていくことが目的とされています。

※ 2025 年度より科目・科目構成が変更されます。どのような試験が行われるのか、どのような試験内容があるのか、どのような試験形式があるのか、などを詳しく解説しています。

2 2026 年度版「歴史総合、日本史探究」の出題内容の解説

2026 年度版「歴史総合、日本史探究」の出題内容は、大きく分けて 3 つの分野に分かれています。1 つは「歴史総合」分野で、歴史の基礎的な知識や、歴史の発展の過程などを扱います。2 つは「日本史探究」分野で、日本史の発展の過程や、日本史の発展の要因などを扱います。3 つは「世界史探究」分野で、世界史の発展の過程や、世界史の発展の要因などを扱います。

3 今後の「歴史総合、日本史探究」試験に向けて

今後の「歴史総合、日本史探究」試験に向けては、最新の入試傾向を把握し、最新の入試傾向に合わせた学習を行うことが重要です。また、最新の入試傾向に合わせた学習を行うためには、最新の入試傾向に合わせた学習を行うことが重要です。

338 学校法人河合塾 日本史講師 中田秀作

2026 年度版「歴史総合、日本史探究」分析と対策

A 「歴史総合」分野の問題と分析

2026 年度版「歴史総合」分野の問題は、大きく分けて 3 つの分野に分かれています。1 つは「歴史総合」分野で、歴史の基礎的な知識や、歴史の発展の過程などを扱います。2 つは「日本史探究」分野で、日本史の発展の過程や、日本史の発展の要因などを扱います。3 つは「世界史探究」分野で、世界史の発展の過程や、世界史の発展の要因などを扱います。

B 「日本史探究」分野の問題と分析

2026 年度版「日本史探究」分野の問題は、大きく分けて 3 つの分野に分かれています。1 つは「日本史探究」分野で、日本史の発展の過程や、日本史の発展の要因などを扱います。2 つは「世界史探究」分野で、世界史の発展の過程や、世界史の発展の要因などを扱います。3 つは「歴史総合」分野で、歴史の基礎的な知識や、歴史の発展の過程などを扱います。

C 「世界史探究」分野の問題と分析

2026 年度版「世界史探究」分野の問題は、大きく分けて 3 つの分野に分かれています。1 つは「世界史探究」分野で、世界史の発展の過程や、世界史の発展の要因などを扱います。2 つは「日本史探究」分野で、日本史の発展の過程や、日本史の発展の要因などを扱います。3 つは「歴史総合」分野で、歴史の基礎的な知識や、歴史の発展の過程などを扱います。

② 入試動向に合わせて別冊付録を拡充、整理ページを新設

『図説 日本史通覧』の別冊付録としてご利用いただいている『「日本史重要史料」と「本体解答・解説」』を大幅に拡充いたしました。特に「日本史重要史料」は、近年の入試で出題された領域型荘園を扱った史料などを新たに追加し、全 212 点を収録いたしました。さらに、史料の年代や作者、史料の性格などの知識を求める問題も出題されていることをふまえ、各時代の有名史料やその背景を整理する p.41「重要史料の整理とまとめ【前近代】」を新設いたしました。

[illegible]

「**32** 安政の開始(1) 下り」

中世

「**33** 鎖城型國の立莊

— 10 —

↑ p.10 「領域型荘園に関する史料」

←p.41 「重要史料の整理とまとめ【前近代】」

③ 各時代の特色を見わたす「時代の概観」

日本史探究では、時代を通観する問いと仮説を表現し探究する学習や、中学校社会科・歴史総合を踏まえた学習が求められています。これに対応するため、各時代の冒頭部(p.21-22、99-100 など)に、中学校社会科・歴史総合で学習した資料から時代を通観する問い・仮説を表現できる見開き「時代の概観」を設置いたしました。

ページ上部では、「時代の特徴を探究する問い」(理解しやすさを重視し、時代を通観する問いを言い換えております)を踏まえて資料から仮説を表現する具体的な例を示しています。生徒の皆様
に問い・仮説を表現することを促せる構成としています。

◆ おわりに

私ども編集部では、よりよい地理歴史科教材をめざし、引き続き皆様のご意見に向き合い、一層の内容向上を続けていく所存でございます。資料集に込めた想いをご賢察いただき、『図説 日本史通覧』を何とぞご検討賜りますよう、お願い申し上げます。

『大学入試対策 デジタル実践問題集 歴史総合・
日本史』は今年度大幅アップデートいたします。
併せてご検討をいただけたら幸いです。



紹介ページはこちら▶